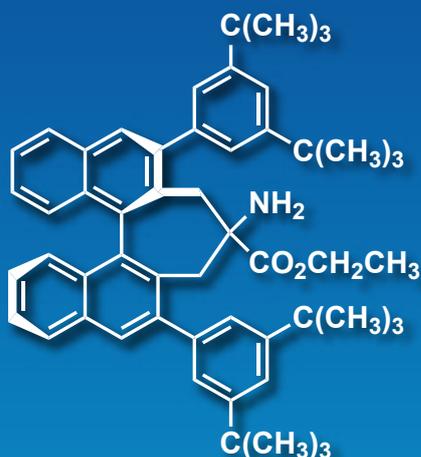


# $\alpha$ -分枝アルデヒドのエナンチオ選択的 フッ素化を触媒するキラルアミン

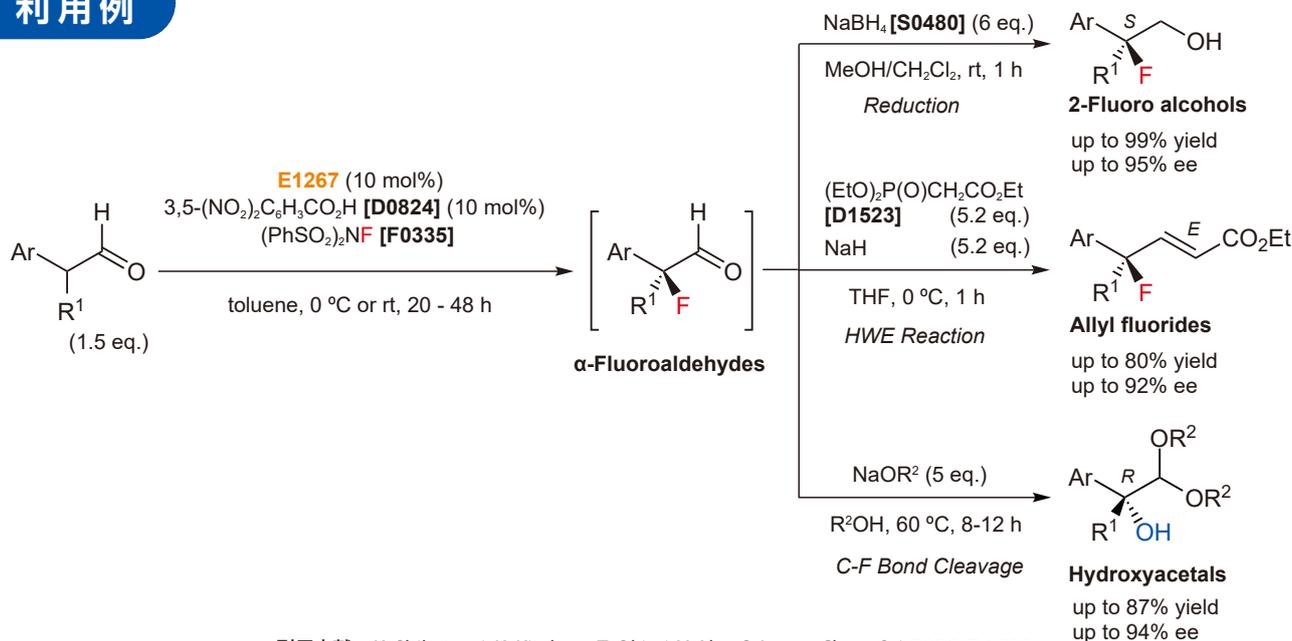


Ethyl (11bR)-4-Amino-2,6-bis(3,5-di-tert-butylphenyl)-  
4,5-dihydro-3H-cyclohepta[1,2-a:7,6-a']-  
dinaphthalene-4-carboxylate  
50mg  
[E1267]

## 特長

- *N*-フルオロベンゼンスルホンイミド (NFSI) をフッ素源とする $\alpha$ -分枝アルデヒドの不斉フッ素化反応を触媒
- 生成するキラル三級フッ素化物から、様々な光学活性化合物に変換可能

## 利用例



引用文献 K. Shibatomi, K. Kitahara, T. Okimi, Y. Abe, S. Iwasa, *Chem. Sci.* **2016**, 7, 1388.  
<https://doi.org/10.1039/C5SC03486H>  
柴富一孝, 国立大学法人豊橋技術科学大学, 特許6213999, 2017.

本製品は、柴富一孝 教授の技術指導により製品化しました。

## 関連製品

**3,5-Dinitrobenzoic Acid**

25g / 500g [D0824]

***N*-Fluorobenzenesulfonimide (= NFSI)**

5g / 25g [F0335]

**Sodium Borohydride**

25g / 100g / 500g [S0480]

**Triethyl Phosphonoacetate**

25g / 100g / 500g [D1523]

# $\alpha$ -分枝アルデヒドのエナンチオ選択的フッ素化を触媒するキラルアミン

研究室のご紹介

## 柴富研究室

豊橋技術科学大学 環境・生命工学系



柴富一孝 先生（左端）と研究室メンバー

### ご研究内容

柴富研究室では、新しい光学活性触媒、不斉合成反応の開発を主眼として有機合成化学研究に取り組んでいます。さらに、開発した新触媒、新反応を利用したキラル医薬農薬化合物の高効率合成にもチャレンジしています。最近では、カルボニル化合物の高エナンチオ選択的ハロゲン化反応やこれを利用した2型糖尿病薬候補分子の合成などに成功しています。

## 東京化成工業株式会社

### 試薬製品について

■本社営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階  
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階  
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

### スケールアップ、受託サービス(合成・開発・製造)について

□化成品営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階  
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021 E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

### 弊社製品取扱店

本誌掲載の化学品は試験・研究用のみ使用するものです。化学知識のある専門家以外の方のご使用はお避けください。品目や製品情報等、掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。内容の一部または全部の無断転載・複製はご遠慮ください。